

いしづえ

2025 10・11・12 月号
(合併号)

第652号 2025・12・28 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-33-32 TEL 03-3314-5688 FAX 03-3314-8954



クリスマス 新年
おめでとうございます



少しでもこの世界を良いものに

主任司祭 高木 健次

高円寺教会にもあるスカウト活動は、1907年にイギリスの軍人であるベーデン・パウエル卿という人が始めた。このベーデン・パウエル卿がスカウトの青少年に遺言のつもりで書き残した最後の手紙は、現在でも色々な機会に朗読されスカウト活動の精神を意識させてくれます。その中にこのような一節があります。「幸せを得ることによつて得られるものなのだ。あなたの方の見いだした世界よりも、少しでもこの世界を良いものにして後に残すならば、あなた方が死ぬ順番が回つて来た時、自分は自分の最善を尽くし、時を無駄にしなかつたという幸せを感じながら満足して死ぬことができる」。この手紙の「少しでも世界を良いものにして後に残す」ということについてリーダーの方が子供たちにおつしやつていたことが今でも私の心に残っています。それは、世界を良いものにして後に残すということは、決し

て大きなことをしなければ、また大人にならなければ実現できないというものではない。今すぐでも、身近なことでも行うことができる。例えば、宿舎のトイレのサンダルが乱れていたらそれをそろえるなら、その分だけ世界がより良くなつたと言えるのだ、といふものでした。お話しを聞いて、この身近なことを通して世界をより良くすることができるという考え方を私も忘れないでいたいと思いました。そしてこの考え方は私たちがお祝いしたばかりのクリスマスに示された神様のなさり方にも通じるのではないかと思います。救い主の訪れは、皆を圧倒するような形ではなく、暗闇の中のかすかな光のように、貧しい幼子の誕生という小さな出来事として始められました。この幼子の恵みに導かれて、私たちも小さなこと、身近なことからこの世界をより良いものにしようとする人々の仲間に加わればと希望します。